

同志社東京 52 年会 2026 年総会レポート

— 薄曇りの中、固く結ばれた仲間の輪から暖かい光が —

9 月 13 日、長らく続いた雨が一休みした薄曇りの中、新橋の中華料理店「新橋亭」にて 2026 年度の総会と懇親会が開催されました。はるばる新潟から来たメンバー、初参加のメンバーも含め総勢 29 名の参加による今回の集い、上窪会長の挨拶で総会の幕が開きました。

総会では会長より今年度の活動実績の報告の後、「大学卒業後 50 年の節目となる来年、それを記念してメンバーがますます元気で暮らせるようなそんな企画を一緒に考えましょう！」との呼びかけがあり、多くの参加者から暖かい賛同の笑顔を見ることができました。その後、会則の修正の承認、会計の報告と承認などを経て総会は無事終了し、懇親会へとプログラムは進みました。



懇親会は石川さんの乾杯の音頭で賑やかにスタート。新橋亭のおいしい料理とお酒とともに、あちらこちらで楽しい会話に花が咲きました。そのような中、懇親会のメインイベントであるメンバー各人のスピーチが今井さん、国谷さんの

プロ顔負けの司会で始まりました。今回は一人の持ち時間も 2 分を目安に出来るだけ多くを語ってもらうのが狙いでしたが、その狙い通り（中にはその狙いを超えるくらい雄弁だった人もいましたが）参加者全員がそれぞれに近況や抱負などを語ってもらい大いに盛り上がりました。そして、恒例のカレッジソングと同志社チアーズの斉唱で会場の雰囲気は最高潮に達し、素敵な表情満載の記念撮影とともに懇親会は幕を閉じました。

お店の外に出ると、薄曇りの空からはわずかな太陽の光が。我々仲間の輪からの暖かい光がそこに映し出されているようでした。



（文責：鶴川）